

記 号 (1993年現在)

[illegible]

第4表 日本語の子音と半母音

調音法	調音点	両唇音		歯(茎)音	齒茎一 硬口蓋音	硬口蓋音	両唇・ 軟口蓋音		軟口蓋音	口蓋垂音	声門音
		鼻音	有声音	無声音	有声音	無声音	有声音	無声音	有声音	無声音	
鼻		m	n		ɱ				ɱ	N	
破裂音		p	t						k		ʔ
		b	d						g		
摩擦音		ɸ	s		ʃ						h
			z		ʒ						
破擦音			ts		tʃ						
			tʃ		dʒ						
はじき音			r								
半母音									ɰ		

X 五十音図の発音

ここで、五十音図の代表的発音、つまり単独で発音されるもので、個人差、話者の生理的・心理的条件や前後の音などの影響のない発音をまとめてみる。ただし、この表の中の音声記号の [] は省略し、撥音、促音、引く音、カ行鼻濁音、および語中のザ行音は含めない。

a	i	u	e	o	
ka	kʲi	ku	ke	ko	kʲa kʲu kʲo
sa	ʃi (çi)	sü	se	so	ʃa ʃu ʃo (ça çu ço)
ta	tʃi (tçi)	tsü	te	to	tʃa tʃu tʃo (tça tçu tço)
na	ɲi	nu	ne	no	ɲa ɲu ɲo
ha	çi	ɸu	he	ho	ça çu ço
ma	mʲi	mu	me	mo	mʲa mʲu mʲo
ja		ju		jo	
ra	rʲi	ru	re	ro	rʲa rʲu rʲo
wa					

ga	gʲi	gu	ge	go	gʲa gʲu gʲo
dza	dʒi (dçi)	dzü	dze	dzo	dʒa dʒu dʒo (dça dçu dço)
da			de	do	
ba	bʲi	bu	be	bo	bʲa bʲu bʲo
pa	pʲi	pu	pe	po	pʲa pʲu pʲo

XI 日本語の音素と代表的異音のまとめ

第3章のまとめとして、日本語の音素とその代表的異音の発音を整理してみる。各異音の現れる環境は音素で次のように示す。ただし、生成音韻論で厳しく問われるルールの簡略化はここではあまり問題にしないことにする。

/A/ → [B] : 音素/A/が異音[B]になる

/C — : 音素Cの後で

/ — D : 音素Dの前で

{E, F} : 音素EかFのいずれか

/# — : 境界の後、つまり語頭で

/ — # : 境界の前、つまり語末で

(G) : 音素Gはあってもなくてもいい

特に環境の表示のない場合は、それまでに示された以外のすべての環境で起こりうることを意味する。

1 母音音素と代表的異音

/a/ → [a]

/i/ → [i]

/u/ → [ü] / {s, t, z} — (音素/s, t, z/の後で)

(→ [m] / # — m ((語頭で/m/の前)))

→ [ɯ] (上記以外の場合はすべて)

/e/ → [e]

/o/ → [o]

2 子音音素と代表的異音

/k/ → [kʲ] / — i

→ [k] (上記以外の環境で)

/kj/ → [kʲ] (キャ, キュ, キョの子音)

/s/ → [ʃ] / — i

→ [s]

/sj/ → [ʃ]

/t/ → [tʃ] / — i

→ [ts] / — u

→ [t]

/tj/ → [tʃ]

/n/ → [ɲ] / — i

→ [n]

/nj/ → [ɲ]

/h/ → [ç] / — i

→ [Φ] / — u

→ [h]

/hj/ → [ç]

/m/ → [mʲ] / — i

→ [m]

/mj/ → [mʲ]

/r/ → [rⁱ] / — i

→ [r]

/rj/ → [rⁱ]

/g/ (→ [ŋⁱ] / — i ((語中のガ行鼻濁音で / i / の前で))

→ [ŋ] ((/ i / の前以外のガ行鼻濁音の子音))

→ [gⁱ] / — i

→ [g]

/gj/ (→ [ŋⁱ] ((語中でガ行鼻濁音の拗音の子音になる場合))

→ [gⁱ]

/z/ → [dʒ] / # — i (語頭で / i / の前で)

→ [dz] / # — {a, u, e, o} (語頭で / a, u, e, o / のいずれかの前)

→ [ʒ] / — i (語中で / i / の前)

→ [z] / — {a, u, e, o} (語中で / a, u, e, o / のいずれかの前)

/zj/ (= /dj/) → [dʒ] / # —

→ [ʒ] (語中で)

/d/ → [dʒ] / # — i

→ [dz] / # — u

→ [ʒ] / — i

→ [z] / — u

→ [d] (a, e, o の前で)

/b/ → [bⁱ] / — i

→ [b]

/bj/ → [bⁱ]

/p/ → [pⁱ] / — i

→ [p]

/pj/ → [pⁱ]

3 半母音音素と代表的異音

/j/ → [j]

/w/ → [w]

4 特殊音素と代表的異音

(1) 撥音

/N/ → [m] / — {p, b, m}

→ [n] / — {t, d, (z), n, r}

→ [ɲ] / — {ni, nj}

→ [ŋ] / — {k, g, (ŋ)}

(→ $\tilde{V}$ / — V ((この項のみ母音のカバー・シンボル, V で表す)))

(→ [$\tilde{ʒ}$] / — {si, zi, di, sj, zj, dj})

(→ [$\tilde{z}$] / — {sa, su, se, so, za, zu, ze, zo, du})

→ [N]

(2) 促音

/Q/ → [p] / — p

→ [t] / — t

→ [k] / — k

→ [s] / — s

→ [ʃ] / — {si, sj}

(3) 引く音

/R/ → [ː] (つまり, 前の母音を倍に伸ばすという意味)

第41表 名 詞 の ア

ク セ ン ト の 型

拍 数 型の種類		一 拍 の 語	二 拍 の 語	三 拍 の 語
平 板 式	平 板 型	 ヒ(ガ) 日(が)	 ト リ(ガ) 鳥 (が)	 サ ク ラ(ガ) 桜 (が)
	尾 高 型		 ハ ナ(ガ) 花 (が)	 オ ト コ(ガ) 男 (が)
起 伏 式	中 高 型			 コ コ ロ(ガ) 心 (が)
	頭 高 型	 ヒ(ガ) 火(が)	 ア メ(ガ) 雨 (が)	 イ ノ チ(ガ) 命 (が)

四 拍 の 語	五 拍 の 語	六 拍 の 語
 ト モ ダ チ(ガ) 友 達 (が)	 ニ ホ ン ガ ミ(ガ) 日 本 髪 (が)	 ム ラ サ キ イ ロ(ガ) 紫 色 (が)
 イ モ ー ト(ガ) 妹 (が)	 オ シ ョ ー ガ ツ(ガ) お 正 月 (が)	 ジュ イ チ ガ ツ(ガ) 十 一 月 (が)
 ミ ズ ウ ミ(ガ) 湖 (が)	 ニ ワ カ ア メ(ガ) 俄 雨 (が)	 ア イ ア イ ガ サ(ガ) 相 合 傘 (が)
 ウ グ イ ス(ガ) 鶯 (が)	 ハ ル ガ ス ミ(ガ) 春 霞 (が)	 タ タ ミ オ モ テ(ガ) 畳 表 (が)
	 オ ナ イ ド シ(ガ) 同 い 年 (が)	 コ ナ オ シ ロ イ(ガ) 粉 白 粉 (が)
		 オ マ ワ リ サ ン(ガ) お 巡 り さ ん (が)
 コ ー モ リ(ガ) 蝙 蝠 (が)	 オ ツ キ サ マ(ガ) お 月 様 (が)	 ダ イ ジ ン グ ウ(ガ) 大 神 宮 (が)

注、●は名詞の一拍を、○は助詞の一拍を示す。